

観光ボランティアのユニフォーム製作の考え方について

基本的な考え方

東京のブランドあり方検討会の議論

- ◎ 伝統と革新を表現するデザイン：アイコンとの一体性
- ◎ 「法被」のようなスタイルが望ましい。
- ◎ 和風テイストの統一感があり着たいと思うデザイン
- ◎ 品質が優れていること（J-QUALITYのレベル感）

着眼点

デザイナー団体からの提案：東京ファッションデザイナー協議会

- 着用するボランティアの考え方を取り入れるべき
ユニフォームの印象や機能性についてのヒアリングが必要
- 特に機能性を十分に検討するべき
(手入れのしやすさ、使い勝手など)

具体的な内容

ボランティアからの意見

ボランティア・リーダー等（20歳～70歳）男女計10人にヒアリング

◎観光ボランティアと一目でわかるデザインが大切

- ・ボランティアのガイドと明示すべき
- ・「i」マークを入れた帽子を活用すべき
※目立って好奇心目で見られるのは避けることが必要

◎男女と年齢に関係なく着用できるシンプルさが必要

- ・色はブルー系が良い（白も使い清潔感を出す）
- ・「法被」のスタイルは否定的な意見も（目立ち過ぎない形が良い）

◎動きやすく、手入れ（洗濯）が容易で、実用性が高いこと

- ・私服に重ねても軽く、動きやすいスタイル（ビブス等）
- ・清潔感のある状態で着用することが必要
⇒洗っても乾きやすく、折りたたみ（帽子）も可能
- ・ポケットに物を入れ、資料は鞆で持ち運び